

2025年1月17日

～ドライブレコーダー取得データを活用し、運送業界の業務効率化に貢献～
『Fードラ』車両位置情報を「traevo Platform」に提供開始

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎）は、今月より、フリート契約向けドライブレコーダー・テレマティクスサービス『Fードラ』^{※1}が取得した車両位置情報を、株式会社 traevo（社長：鈴木 久夫）の車両動態管理プラットフォーム「traevo Platform」^{※2}に提供を開始します。

当社は、本機能を通じて、運送業界が直面する人手不足等の課題解消を支援するとともに、データ活用によって、さまざまな社会課題の解決を実現していきます。

※1：『Fードラ』Webサイト（<https://www.ms-ins.com/business/car/fdora/>）

※2：デジタコ等の異なる車両位置管理デバイスの情報を一元管理するプラットフォームです。協力運送会社の車両位置の確認や荷主企業等からの照会削減につながり、利用者の業務効率化を実現します。

traevo社Webサイト（<https://traevo.jp>）

1. 背景

労働基準法の改正やドライバーの高齢化、物流需要の増加等により、運送業界では業務効率化に向けた取組が強く求められています。

一方で、荷主企業や元請企業が協力運送会社に運送業務を委託する際、車両の位置情報を知るためには、委託先の運行管理者に電話やメールで問い合わせる必要があり、確認作業に時間を要するうえ、即時把握が困難といった課題が発生しています。

そのような中、当社は、課題解決に向けて通信機能付き専用ドライブレコーダーの強みを活かし、外部プラットフォームに車両位置情報を即時連携する機能を開発しました。

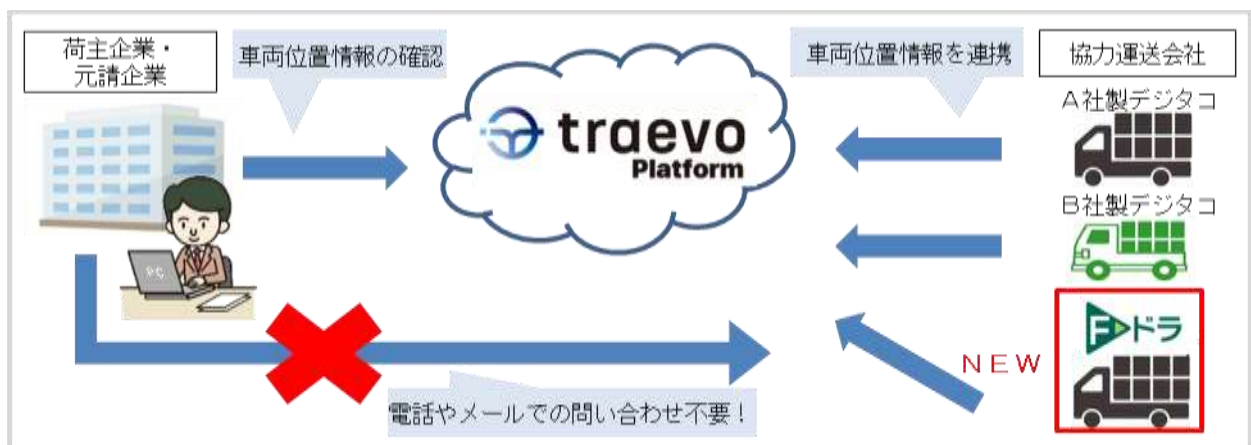
2. 本機能の概要

契約者の事前同意を前提に、『Fードラ』の通信機能付き専用ドライブレコーダーが取得した位置情報を、「traevo Platform」へ即時連携します。

本機能により、『Fードラ』導入企業は、『Fードラ』が提供する事故・緊急時や事故防止取組等のサポートに加え、「traevo Platform」で車両位置情報の一元管理が可能となり、企業価値向上や業務効率化につながります。また、荷主企業や元請企業は、「traevo Platform」を通じて協力運送会社の運行状況を把握することが可能となります。

なお、本機能の利用には、『Fードラ』とは別に、「traevo Platform」の利用申込が必要です。

<イメージ図>



<ご参考>『F-ドラ』の主な機能

- ・専用ドライブレコーダーで、企業・従業員の「事故・緊急時」「事故防止取組」「運行管理」をサポートするフリート契約者向け有償サービスです。
- ・基本プランのサービス料（1か月あたり）は以下の通りです。
 スタンダードプラン：1,500円（税別）／1台、シンプルプラン：1,300円（税別）／1台



**専用ドライブレコーダー
で安全運転の取組を
サポート**

事故・緊急時



衝撃検知

専用ドライブレコーダーが、事故等、一定以上の衝撃を検知すると、専用安否確認デスクに自動通報。

事故防止取組



運転力診断・分析

専用ドライブレコーダーが、危険運転挙動を検知し、アラートでお知らせ。運転傾向や危険運転動画も確認可能。

運行管理



走行ルート

専用ドライブレコーダーにより、走行ルート、現在地、最高速度、運転時間、運転間隔等が確認可能。

<ご参考>株式会社 traevo の会社概要

会 社 名	株式会社 traevo
設 立	2022年1月
本 社 所 在 地	東京都港区六本木3丁目2-1 六本木グランドタワー
代 表 者	代表取締役社長 鈴木 久夫
主 な 業 務	動態管理プラットフォームサービスの開発・運営
U R L	https://traevo.jp

以 上